

## 近代 11 朝鮮問題の POINT

壬午軍乱→金玉均のクーデター事件→甲申事変→天津条約への流れを正確におさえておきたい。

### N071 近現代の日朝関係 早稲田(文)2013

1873年、岩倉使節団が帰国した。当時、政府内部では征韓論が高まっていたが、使節団メンバーの反対によってしりぞけられた。その後、政府は1874年、a 台湾に出兵し、また、1876年にはb 朝鮮と日朝修好条規を結んだ。一方、政府は、1876年、【A】のもとで条約改正交渉を開始し、関税自主権の回復をめざした。自由民権運動も条約改正による国権回復をもとめ、領事裁判権の撤廃などを要求した。

朝鮮では1882年、日本の進出に対する不満などからc 漢城(現ソウル)で反乱が起こり、1884年にはd 急進的な改革をめざすグループのクーデター事件がおこった。他方、この時期、日本政府は列国代表を集めて会議を開き、条約改正をはかろうとしたが、1887年、外国人裁判官を任用しようとしていることがわかると批判が強まり、言論の自由、地租の軽減とあわせて外交問題を取り上げる【B】運動が高揚して、条約改正交渉は失敗に終わった。その後も政府の条約改正交渉への批判は強く、外国人に日本国内を解放する【C】に反対するなど、対外強硬策を主張する声が高まった。

日清戦争の直前、政府はe イギリスとの条約改正を実現し、つづいて他の欧米諸国とも同内容の条約を結んだ。これは、1899年に発効し、幕末以来の外国人【D】は廃止された。他方、日清戦争後、日本は台湾の植民地化をはかるとともに、日本に有利な日清通商航海条約を結んで、清国に対し欧米諸国と同じ権限を手に入れた。日露戦争後には、激しい抵抗運動をおさえてf 朝鮮を植民地とした。日本が条約改正を達成したのは、その翌年のことであった。

〔問〕

- 下線aに関する説明として誤っているものはどれか。1つ選びなさい。
  - ア 台湾先住民による琉球漂流民殺害事件が出兵理由とされた。○
  - イ 台湾先住民に関する責任は負わないという清国側の姿勢を根拠に出兵した。○
  - ウ 征韓論をしりぞけた大久保利通らのもとで出兵計画はまとめられた。○
  - エ 清国は出兵が不当だと主張し、日本に対し謝罪を要求した。✕
  - オ 西郷従道の指揮下で行われたこの出兵が、近代日本で最初の海外派兵である。○

誤文→エ

- 下線bに関する説明(日朝修好条規)として誤っているものはどれか、1つ選びなさい。
  - ア 前年の軍事衝突事件をきっかけに締結された。江華島事件○
  - イ 朝鮮は釜山・仁川・元山の開港を認めた。○
  - ウ 日本は朝鮮に領事裁判権を認めさせた。○
  - エ 付属の取り決めで日本の関税免除が認められた。○
  - オ 清国はこの条規の締結に反対し、日本に抗議した。✕

誤文→オ

- 空欄Aに当てはまる人名を漢字で記せ。

正解→1876年時の外務卿は→**寺島宗則**

- 下線c(漢城で反乱)に関する説明として誤っているものはどれか。1つ選びなさい。

ア 親日策をとる政権に対する兵士の反乱がきっかけとなった。

→○関妃政権へのクーデター

イ 日本は軍隊を派遣し、反乱によって成立した政権を倒した。

→大院君政権は清への傾斜を強めた。政権を倒していない✕

ウ 事件後、首謀者の処罰、賠償金の支払いなどを内容とする条約が結ばれた。○

エ 事件後、日本は公使館守備兵を駐留する権利を手に入れた。○

オ 事件後、清国は朝鮮に対する宗主権の強化をはかり、干渉を強めた。○

正解→イ

- 下線d(急進派クーデター)に関する説明として誤っているものはどれか。1つ選べ。

ア 清仏戦争の時期をねらってクーデターを敢行することが計画された。

イ クーデターは日本公使・駐留日本軍と結んで企てられた。

ウ クーデター計画は事前に発覚し、清国の介入で未遂に終わった。

エ 事件後、日本と朝鮮のあいだでは漢城条約が結ばれた。

オ 事件を機に日本国内では清国に対する強硬論がたかまった。

正答と解説

ア 正文 清仏戦争がきっかけ

イ 正文 日本公使館の支援を受けている

ウ 正文

エ えっ! 漢城条約? 天津条約ですよ! ✕

オ 正文 清国・朝鮮に対する日本の世論は急速に悪化した(教科書289頁)。

- 空欄Bに入る語句を漢字で記しなさい。

正解→**三大事件建白運動**

- 空欄Cに入る語句を漢字で記せ。

正解→**内地雑居** これは意外に難問です。教科書に記載があるが、内地雑居の意味は難しいのではないかと、テキストを確認してみよう!

③**井上馨**(外務卿→外相)長州

アメリカが喜ぶことを探る

ヨーロッパに同調する外交を目指す

→**欧化政策**…鹿鳴館での舞踏会開催

(改正交渉をうながすため)

→改正案①……**内地雑居**の容認、が出た。改正案②**半数以上の外国人裁判官**を任用する

## 早慶への日本史

○政府内外の批判 フランス人法律顧問**ポアソナード**が反対  
農商務省**谷干城**が反対・世論の反対（民権運動家の反対）

- 8 下線 e に関する説明として誤っているものはどれか。1つ選べ。
- ア 1858年に調印した日英間の通商条約を改正したものである。
  - イ 調印は外務大臣陸奥宗光の指示をうけてイギリスで行われた。
  - ウ これによりイギリスの領事裁判権は撤廃された。
  - エ この改正では税権に関する取り決めはなされなかった。
  - オ この改正は日本がイギリスの好意的立場を得たものと受け取られた。

授業テキストを見てみよう！

⑥**陸奥宗光**（外相）…第2次伊藤内閣

○**日英通商航海条約**調印1894（1899施行）

①内地解放の承認、②領事裁判権の撤廃、③**最惠国待遇**の双務化、④**関税率の一部引下げ実現**

### 史料研究 「蹇蹇録」

明治二十七年七月十三日付を以て、**青木**公使は余に電稟して曰く、「本使は明日を以て新条約に調印することを得べし」と。而して余が電信に接したるは抑々如何なる日ぞ。**鷲林八道**の危機方に旦夕に迫り、余が大鳥公使に向ひ、「今は断然たる処置を施すの必要あり、何等の口実を使用するも差支なし、実際の運動を始むべし」と訣別類似の電訓を發したる後僅に二日を隔つるのみ。

- ア 正文
- イ 正文 イギリス在住の大鳥公使に指示している
- ウ 正文 ②領事裁判権の撤廃
- エ ✕ ④関税率の一部引下げ実現

オ 正文

- 9 空欄 D に入る語句を漢字で記せ。

正解→**居留地**

10 下線 f に関する説明として正しいものはどれか。1つ選べなさい。

- ア 日本によって三・一独立運動が弾圧された後、上海に大韓民国臨時政府が設立された。
- イ 米英ソの3国首脳は第二次世界大戦中のカイロ宣言で、朝鮮独立の方針を明らかにした。✕ソビエトでなく**中国**である。
- ウ 日本降伏後、朝鮮半島には統一国家が建設されたが、米ソ両軍の進駐によって分割占領された。✕統一国家は建設されていない
- エ サンフランシスコ平和条約で朝鮮の独立と併合以前の諸条約の失効が取り決められた。✕朝鮮の独立はカイロ宣言
- オ 日韓協約で大韓民国との国交は樹立されたが、植民地間の問題は解決されなかった。

✕

正解→ア

## NO72 朝鮮半島と日本 慶應（経済）2007

朝鮮半島との関係から見た日本の近代化について述べた次の文章を読んで、以下の問に答えなさい。

### Pain is inevitable Suffering is optional

隣国との関係は、その国の実態を映し出す鏡である。A 朝鮮半島との関係を見たとき、日本の近代化は光と陰のコントラストをもった像として浮かび上がってくる。B**1905**（明治38）年、日本は第2次日韓協約を結び韓国を保護国化した。この年は、日露戦争の勝利によって、C 明治維新以降国内の近代的諸制度の整備につとめてきた日本が、欧米列強に比肩する地位を獲得した年でもあった。以後、日本は、韓国併合、アジアへの軍事的進出という膨張主義路線を突き進み、1945（昭和20）年の壊滅的な敗北を迎えることとなった。

問1

(1) 朝鮮半島と日本に関連して、下の年表のどこに入れるのがもっとも適切か、年表中の空欄1～4のなかから選べなさい。

- a 台湾総督府設置    b 日清修好条規締結    c 清仏戦争勃発

1	日清修好条規締結
日朝修好条規	
2	清仏戦争勃発
甲申事変	
3	
甲午農民戦争	
4	台湾総督府設置

正解→

(2) 次の表は日朝修好条規と日米修好通商条約の内容を比較したものである。表中の1～4のなかから誤りを含むものを1つ選べなさい。

	日朝修好条規	日米修好通商条約
1	釜山ほか2港の開港が定められた。	神奈川・長崎・新潟・兵庫の開港が定められた。
2	日本の領事裁判権が承認された。	アメリカの領事裁判権が承認された。
3	日本からの輸入品には関税が免除された。	アメリカからの輸入品には、日本の関税自主権がなかった。
4	朝鮮の開港場における日本貨幣の自由使用権が承認されなかった。	日本の開港場におけるアメリカ貨幣の自由使用権が承認された。

正解→4。✕日本貨幣の自由使用権は承認された。

(3) **甲申事変の影響**について述べた1～4の文章のなかから誤りを含むものを1つ選べ。

1. 日本と結んで朝鮮の近代化をめざした独立党の金玉均らが甲申事変に失敗した後、福沢諭吉は日本の列強入りを主張する「脱亜論」を発表した。
2. 甲申事変の後、日本は列強とのアジア分割戦に参入すべく、仮想敵国をロシアに定めて軍備拡張を行ない、軍隊の編成を師団制から鎮台制に変えた。
3. 甲申事変の後、旧自由党の大井憲太郎や景山英子たちは、親日政権を樹立するために朝鮮に渡ろうとしたが、事前に大阪で逮捕された。
4. 甲申事変の後、伊藤博文と李鴻章との間で、日清両国軍隊を朝鮮から撤退させること

## 早慶への日本史

Pain is inevitable Suffering is optional

などを主な内容とする天津条約が結ばれた。

正解→2。鎮台から師団である。

(4) **甲午農民戦争**に関する次の文章の下線部1～4のなかから誤りを含むものを1つ選びなさい。

1 全に率いられた農民が蜂起すると、朝鮮政府は、2 清国に派兵を求めて鎮圧をはかり、3 農民軍と和約を結んだ。 4 清国が天津条約による事前通告をしなかったため、日本政府は朝鮮派兵を決定した。

誤文→

(5) 次の1～6は1905年以後の日韓関係に関する出来事である。年代の古い順に並びかえ、2番目に古いものと、5番目に古いものを記せ。

2番目に古い→ハーフ密使事件

5番目に古い→伊藤の暗殺

1. 伊藤博文の暗殺 2. 高宗の退位 3. 朝鮮総督府の設置

4. 第3次日韓協約 5. 統監府の設置 6. ハーフ密使事件

正解→

統監府の設置 1905

ハーフ密使事件 1907

高宗の退位 1907

第3次日韓協約

伊藤の暗殺 1909

朝鮮総督府の設置 1910